てんこ新聞

06.6. No.110
発行責任 南岡明夫

どこか変？ どうして?!

※五月は「五月晴れ」という言葉があるように天気がいいという印象が強いけど、今年は違う。十回ぐらいあった、剣山次郎笈の案内がほとんど雨。せっかく関東から来て下さったのに、ただ登っただけ。どうしたのかなあ。

※、雨が多い五月だった。そして花を遅らせている。今頃は、祖谷のあっちこっちにウツギの花がめだつ。鳥も渡って来るのが遅いのか、六月すぎ一日になって、今年はじめてキロロー、キロロー の鳴き声、アカショウビンがどうなってるのかねぇ。

※、合併で市になって二年目がすぎました。少しずつですが"ええ、そうなの"という様な事があります。東祖谷山村の時はもっと融通がきいたのに、細かい所まで形式ばかりが先行して、ちょっぴりずっこい。行政って、サービス業じゃないかえ。

※、東祖谷の温泉(?)といえば、「いやしの郷」、多分、黒字経営ではないとおもうのだけど、二年前も工事をしている。しかも、オープンして、まだ三年しかたっていないのに。お金って、どこにあったのだろう。

その上、最近、支配人が替わったという話。この前の人は役場の天下り。経営の手腕はどうなのか知らないけど、一年ぐらいで、また新しい人になった。公募もしなかったとおもうので、どういうルートで決ったのか知らないけれど、やっぱり、これもどこか変です。

「宝物」にしていいのかなあ、いやしの郷は。

《シラクチカズラ（サルナシ）》

あらあら鹿さんよ

東祖谷村、共同耕作地「ごうごと畑」

ある日、期待をこめて行って驚いた。張ったネット二ヶ所で倒されて、ごうごと畑は無残にも鹿のエサとなってしまって、すべてがカットされている。鹿の食欲に人間の知恵が負けてしまった。とはいえ、芋はまだ土の中なので、少しの希望はまだあり。芽も少しは残っているので、しっかり柵を打ちなおし、補強をしておく。

村のあちこちでは、もう花が咲きはじめているので果たして、収穫が出来るだろうか。その分は「鹿の食欲」を満たしていないようだし、草木をとるなり…と少しは畑のようにはなっているようだ。などで期待どおりになるかどうか…

少し心配!!

天狗塚 イザリ峠

道標・草刈り

五月二十一日、四国地方も梅雨入り、この日、天狗塚、イザリ峠の草刈りと道標設置に、三好市職員、特に東祖谷支所から多数の参加で、実現しました。

草刈り班は、早く出発し、笹刈りをしながら登る。道標班は、それぞれ分担して道標を持って登る。

途中より雨が降り出し、風も出て寒くなってくるが、登っていると汗が出てくる。ようやくイザリ峠に着く。草刈り班の皆さんは、ちょうど弁当を食べてる所。道標班もすぐ弁当にありつく。寒いので早く食べたんで道標の文字張り。

雨と風、ガスで何も見えない中、道標を建てて、すぐ下山。

イザリのコメツツジも、チラ・ホラぐらいに咲いているが、やっぱり天候が悪いと感激も少しで。

また、草刈りは、剣山クラブの皆さんが、天狗から三嶺の間の草刈りを予定しているので、イザリ峠と草刈り機をおいてきたけど、どう終ってるだろう。

'06 5 2006 10:17

次郎笈より丸石の尾根で咲いていたツマトリソウ

7月2日 or 9日 にオオヤマレンゲを見に行きませんか。
高の瀬へ。奥祖谷二重かずら橋 8:00集合。
また当日、オオヤマレンゲの苗を植える予定です